



## ◇ 第2回 岐阜県スーパーハイスクールセッション（全4回） 参加報告

日時： 7月2日(日)、28日(金)、8月20日(日)、22日(火) 10:00 ~ 16:00

場所： 岐阜大学

テーマ： 「岐阜県の活性化 ～地域の課題を発見し、解決策を提案しよう～」

参加： 大垣北・関・県岐商・多治見北・斐太(SGH)、恵那・岐阜農林(SSH)、  
大垣桜・岐阜工(SPH) 県立スーパーハイスクール9校

目的： 意欲ある生徒が集い、たがいの研究成果を生かして連携し、自発的な自由なアイデア  
を出し合いながら、新たな事業展開につなげられる取り組みを実施する。

県立のスーパーハイスクール9校の生徒が集まり数名ずつのグループを編成しました。関高校からは3名の生徒が参加し、岐阜大学の学生さんのアドバイスを受けながら、他校の生徒とともに課題解決型研究にチャレンジしました。



### <参加した生徒の感想>

■初めは学年も学校も全然違う人たちとのグループということで、なかなか緊張がとけませんでした。回を重ねるごとに段々と絆が深まり、おたがいの学校のことや勉強のことなどを話したりできたのが一番楽しかったです。やはりそれぞれの学校の代表者ということもあって、多くの意見が飛び交い、次の集まりまでに行う調査なども全員が積極的でした。そういったよい点は、学校での活動に取り入れていけるといいと思いました。

一番驚いたのは最終日の発表会です。4日間で仕上げたとは思えないクオリティの高さと、何よりも質疑応答で時間が足りないほど盛り上がったのは正直予想外でした。私は残念ながら指名されることはありませんでしたが、自分が思ったこととはまた違った視点からの質問を聞くのも楽しかったです。

当日、諸事情により人数がかなり少ない状態での発表でしたが、お互いに支えあって、やり切ったといえる発表だったので悔いはありません。幸い関高でのSGHの活動はまだこれからが本番なので、SSSでの経験を生かしていけるように頑張りたいと思います。

■私はこの度、SSSに参加させていただきましたが、とてもよい経験となりました。はじめ、グループのなかには他校の人たちばかりで、しかも集まるのは四日間だけだと聞き、ちゃんとやりとげることができるのか不安でした。しかし、仲間ともすぐ打ち解けることができましたし、みんなやる気のある人たちばかりで、SSS一回目のブレインストーミングからスムーズに進んでいったので安心して活動を楽しむことができました。そしてSSS活動のなかで、意見を練る際には仲間とたくさんコミュニケーションをとることができましたし、インターネットの情報だけを集めるのではなく、積極的に取材をし、生きた情報を集めることができました。そしてその意見を結集して、みんなで納得のいく意見を打ち出すことができました。大学生の方の手厚いご指導もあり、レベルの高いプレゼンテーションをつくれたと思っています。アイデアコンクールでは、たくさんの練習と話し合いの結果、私のグループは優秀賞という結果を残すことができました。とても嬉しかったです。

このSSSの活動では、課題解決の実践を行えただけではなく、よりよいプレゼンテーションの作り方など、今後の学校でのSGH活動でも大いに役に立つ知識やテクニックも学ぶことができました。また、他校の仲間との交流もでき、発見もたくさんありました。はじめは友だちに誘われてなんとなく参加したSSSでしたが、本当に充実した時間を過ごすことができ、やってよかったと思います。また、これらの経験を生かし、学校のSGH活動も頑張っていきたいです。

■今日はSSSのコンクールでした。計5グループの企画案を聞き、自分自身もプレゼンを行いました。私は去年もこの活動に参加したのですが、自分自身のプレゼン能力も向上できたと感じています。これも、自分の意見を前面に出すことができる環境が整っているからだと思っています。この4回の活動を通して、意見をいい意味でぶつけ合う仲間、真剣に聞いてくれる仲間、質問を投げかけてくれる仲間がいたからこそ、今回のコンクールは成功しました。高校生だけでなく、大学生の先輩、先生や県の職員の皆様方のご配慮のお陰だと思っています。皆様、お世話になりました。

この4回の活動の中で一番感動したことは、早い段階でチーム内での結束力が強まったことです。これは去年の活動でも言えることなのですが、SSSに集まってくる人たちは意欲があり、積極的に自分から動ける人たちばかりです。また、今回は大学生の先輩方が加わったことにより、去年よりも充実した時間を過ごすことができました。別の高校の生徒と話すということも貴重なのに、大学の先輩とも仲良くなれてとても嬉しかったです。初回は緊張しましたが、そこから打ち解けるのが早く、みんなが直ぐにグループ内で活発になれたと感じています。これからもこのような機会を増やしていただけると幸いです。

コンクールは終わりましたが、私たちのグループでは、「まだ活動を続けてみないか」という話になりました。「ここまでやったんだから、実現させたい」。自分を含めてみんながその企画に向かって本気で取り組んでいたということを嬉しく感じます。そして、3年生からは本格的に受験勉強をしなければならないため、できるだけ年内に活動をするということにまとまりました。私たちのグループはコンクールで入賞を逃しましたが、実現させることを前提にこの企画を考えてきました。だからこそ、最後までこの企画をやり遂げようと思います。少しでもこのグループで活動できる時間が伸びると思うと、とても嬉しいし心強いです。まだどんな活動をするかは未定ですが、合間を縫ってまたみんなで集まろうと思います。そして、今回のSSSのようにワイワイ楽しんで自分たちの思い描く企画を実現できるように頑張っていきます。

